

議会PR委員会会議録（要点筆記）

令和6年8月9日（金）

午後1時40分 開会

場所 全員協議会室

○芳金秀展委員長

ただ今から、議会PR委員会を開催します。

協議題1「意見交換会について」を議題とします。前回の委員会にて、市民との交流事業の企画として、今年度は昨年度意見交換会を実施していない市内3高校と意見交換会を行うことを当委員会として了承いただきましたので、その後の状況についてご案内させていただきます。

去る7月16日及び19日に半田東高校、半田工科高等学校及び半田農業高校に正副委員長、事務局担当書記にて計画の説明及び依頼を行いました。現時点において、今年度実施する等の連絡はいただいております。夏休み直前に依頼していることから、また、こちらから依頼をしていることを踏まえ、無理に実施することは考えていませんが、今後として、高校から回答がないようでしたら、夏休み明け2週間を目安に改めて高校に連絡をとることを考えています。また、高校に依頼をした際には、各校の特色に合わせたテーマ設定を行い、意見交換を実施してみたいとのアイデアをいただいたことから、実施したい旨の連絡がありましたら委員の皆さまにご報告するとともに、意見交換会の実施方法についていただいたアイデアをどのように取り入れていくかなど協議するとともに、準備を進めてまいりたいと考えていますのでご承知おきください。

この件につきまして、何かありましたらお願いします。

○澤田勝委員

3校に現在依頼をしている、ということでよいですか。また、3校すべてから開催する旨の回答があった場合は、3校すべて実施するということになりますか。

○芳金秀展委員長

3校には、今年度又は次年度に向け、意見交換会の実施を検討いただくことを依頼しています。今年度3校すべてから実施する旨の回答をいただいた場合は、3校において実施します。ただし、各校からは、今年度のカリキュラムがすでに組まれおり、担当教諭に相談してみないと…といった声をいただいております。カリキュラムに沿って実施していることを考慮すると、意見交換会の実施が難しいのではないかと感じています。そのため、委員会としては、意見交換会の開催を実施できないことを危惧しています。

○加藤美幸委員

各校には、事例を示して説明をした、ということですか。

○芳金秀展委員長

その通りです。

○新美保博委員

高校に何を求めていますか。効果はどうですか。

○芳金秀展委員長

主権者教育として、公民の教科で学習することを踏まえ、高校としては、18歳から選挙権を得られたことから主権者教育の一環として実施することはメリットがあります。また、PR委員会としては、高校生の世代に議会を知ってもらうための取組みとしてメリットがあります。そのため、メリットは双方にあると考えています。

○鈴木英華副委員長

高校生からすると、遠い存在と感じていた議員のイメージが意見交換会を通じて身近に感

じることにつながった、と昨年度実施した意見交換会ではありません。

○新美保博委員

議会が感じている高校生との距離間より、高校生が感じている議会への距離間の方がもっと遠いのではないかと考えます。高校生は、これから社会に出る世代であり、知らないことが多いのは当然なことと考えると、相手が求めるものは何かをはっきりさせる必要があると考えます。

○芳金秀展委員長

いったん休憩します。

午後1時50分 休憩

午後2時00分 再開

○芳金秀展委員長

委員会を再開します。

休憩中にご意見をいただきましたとおり、意見交換会を実施するにあたり、一方的に議会から伝えるのではなく、双方向による関係性を作っていきたいと考えています。そのため、今年度については、まずは土台作りをしっかりとしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に、協議題2「e-モニターアンケート結果について」を議題とします。

7月31日付にて、タブレット掲示板にも掲載がされていたe-モニターアンケートにつきましては、270名の方の結果を集計したものとなっています。e-モニターアンケートは、市民自ら参加を希望された方となっています。その方々によるアンケート結果から読み取れる各質問の主な点を確認していきます。

質問1として年代ごとの回答は、20代から50代までの年代が全体の9割を超えている状況となっています。質問事項2については、市議会の情報の取得として、「紙媒体の市議会だより」を選択された方が6割を超える回答でした。その反面、「情報を取得していない」を選択された方も3割を超えていました。質問事項3については、市議会の情報について、月に1回を選択された方が5割近くとなっていました。

質問事項4については、市議会の情報発信についての満足度として、普通を選択された方が7割でした。質問事項5として、市議会だよりについて、「毎回」「時々読んでいます」を選択された方は合わせて7割を超えていましたが、「発行されていることを知らない」を選択された方も1割程度みえる状況でした。質問事項6として、どのような層に情報が届くとよいかについては、複数回答であるため、どの年代においても5割近く必要であるとの回答となっていました。質問事項7として、どのような媒体で発信するべきかについては、「紙媒体の市議会だより」を選択された方が7割を超え、続いて、LINE、ホームページとなっていました。質問事項8として、市議会だよりに掲載する内容については、「市民要望の結果報告」、「代表質問・一般質問の内容」を選択された方が5割近くとなっていました。質問事項9として、愛称に対する意見につきましても多くの意見をいただいています。年代ごとに、内容を分析したものが資料2となります。

このアンケート結果をもとに、議会の広報について、PR委員会として戦略を立てていきたいと思っています。具体的には、アンケート結果から議会だよりが想定以上に読んでいただいていたと感じたことから議会だよりをより充実させること、そして、現在のホームページや使われているLINEの連携について、検討していくことが求められていると思いました。今後は、当委員会からの議会だよりに対する提案としてまとめ、広報誌編集委員会に提案していきたいと思っています。なお、提案内容の実施の有無については、広報誌編集委員会にて検討いただくことになると思います。

それでは、本日は、まず委員の皆さまが感じた感想をいただくことにしたいと思います。

○小出義一委員

まずは、率直に一生懸命議会だよりを作成してきて良かったと思いました。紙面に限りがあるため、掲載する内容を分割してできるようであれば、機能分担をして議会だより、ホームページに分けても良いかと思いました。用途に応じて発信方法を変えることも検討すべきかと感じました。

○澤田勝委員

議会だよりによる発信は、一方通行であるため、興味がない内容については関心がないことが明らかであると感じました。年代により興味ある内容が異なるため、ツールに対して情報を分けることについて検討する必要があると感じました。年代に合わせた、情報発信について広報誌編集委員会に提案しても良いかと思いました。

○芳金秀展委員長

ご指摘のとおり、質問7の発信すべき媒体に関する結果を見ていただくと、30代では、LINEが多いですが、20代では市議会だよりとなっています。また、30代、40代、50代でも結果が異なっている状況であるため、面白い結果がでていると感じました。

○鈴木英華副委員長

情報発信のあり方として、デジタル化を推進することに重きを置いていましたが、議会だよりを求めている結果が多いことを踏まえるとしばらくは、併用が好ましいと感じました。また、市民参加や議会と市民との交流ページがあることにより、まずは議会だよりに対する興味をもち、関心をひくことができると感じました。そのため、興味があるもの、例えば写真を掲載することも良いのではないかと思います。

○加藤美幸委員

市民要望の結果に対する掲載を求める意見があったことから、市民参画が求められているのだと感じました。

○新美保博委員

今回、いただいた回答内容は大切にすべきと感じた反面、このいただいた意見が全てではないことに留意して検討すべきと感じました。市民が欲しいと感じている情報をタイミングよく発信できるようにすべきであり、そのことを議会がキャッチすることが求められていると思います。例えばですが、1年12ヶ月分の情報発信内容を掲載するページを設けて発信していくと良くなるのでは、と考えました。

○芳金秀展委員長

ありがとうございました。

繰り返しになりますが、今回のアンケート結果については、議会だよりに掲載できるように広報誌編集委員会に働きかけをしていきたいと思います。また、次回の委員会において、広報誌編集委員会へアンケート結果の分析と提案について協議を深めていきたいと思います。あわせて、高校との意見交換会に対する進捗状況を報告させていただきたいと考えています。

次回の委員会は、9月25日(水)本会議終了後となります。

このほかに何かありますか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、以上で議会PR委員会を閉会します。

午後2時15分 閉会